令和５年２月 28 日（火）
訂　　正　　版

※訂正部分は下線表記しています。

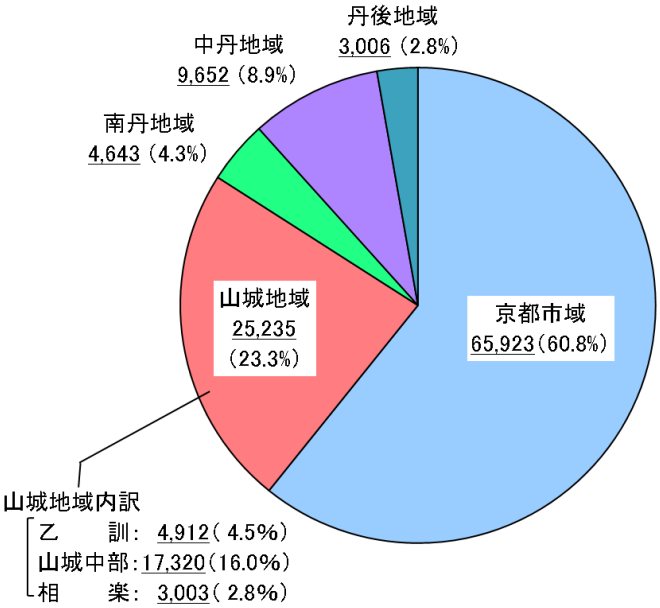
令和元年度　市町村民経済計算の推計結果について

府内市町村の令和元年度市町村民経済計算の地域別推計結果の概要を報告します。なお、本推計は、市町村毎の個別データの積み上げではなく、府民経済計算の数値を各種の分割指標により按分したものであり、地域経済の全体的な把握などマクロ的な視点での利用を目的としています。

地域別推計結果の特徴

- 地域別総生産の構成比は、京都市以南が 84.0%、南丹以北は 16.0%。
- 地域別経済成長率は、総生産は７地域（丹後、中丹、南丹、京都市、乙訓、山城中部、相楽）全てでプラス成長。
- １人当たり地域別市町村民所得は、７地域（丹後、中丹、南丹、京都市、乙訓、山城中部、相楽）全てで増加。
- 府経済全体としては、金融・保険業、公務、保健衛生・社会事業が増加したこと等により、対前年度比 0.5%のプラス成長。
- １人当たり府民所得は、対前年度比 0.7%の増加。

１　令和元年度地域別総生産の構成比（単位：億円、%）

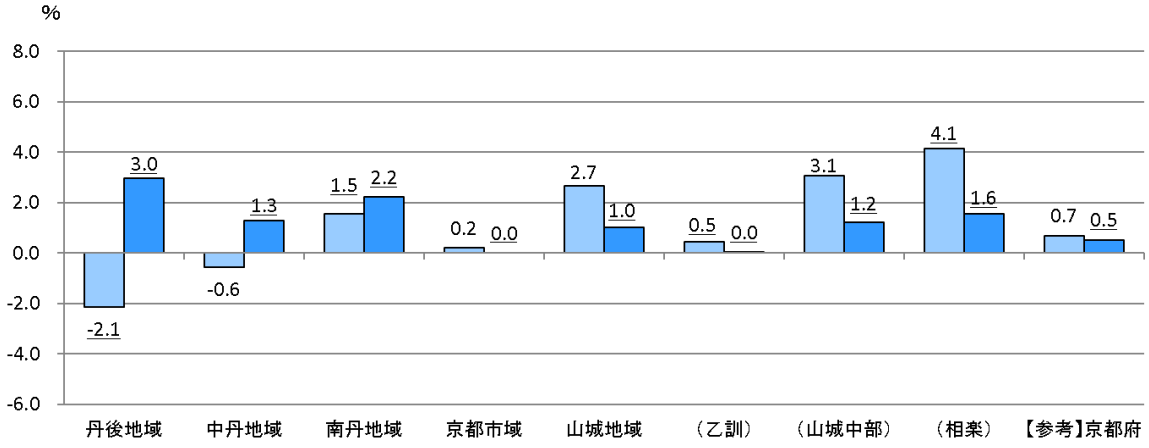


○ 地 域 区 分

丹後：宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町
中丹：福知山市・舞鶴市・綾部市
南丹：亀岡市・南丹市・京丹波町
山城（乙訓）：向日市・長岡京市・大山崎町
山城（山城中部）：宇治市・城陽市・八幡市・京田辺市・久御山町・井手町・宇治田原町
山城（相楽）：木津川市・笠置町・和束町・精華町・南山城村

※推計資料及び推計方法の相違から、京都府の市町村民経済計算における京都市の数値と、京都市の市民経済計算の数値は一致しない。

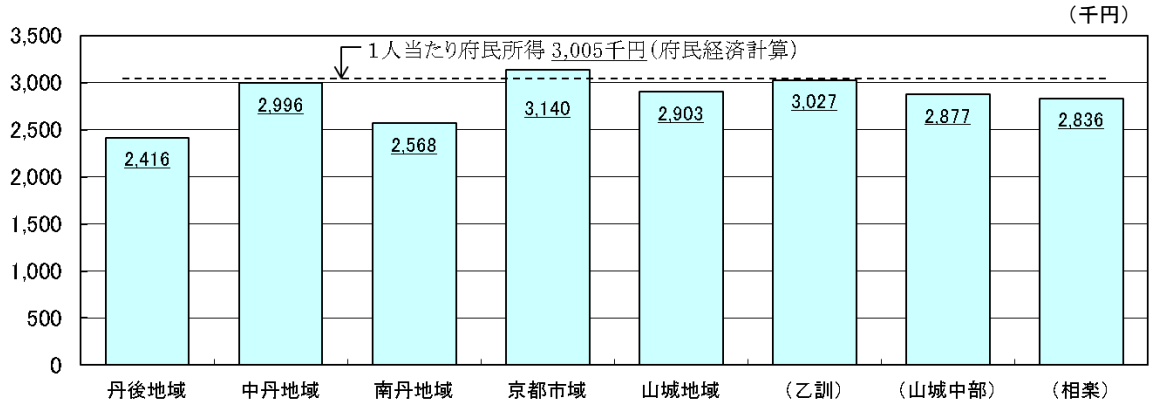
２　令和元年度地域別経済成長率（総生産）



左：平成30年度　右：令和元年度

地域		主な増減要因	
丹後地域		建設業　（11.1%増） 宿泊・飲食サービス業　（8.9%減）	民間建築部門の増加 旅館・その他の宿泊所の減少
中丹地域		運輸・郵便業　（20.3%増） 製造業　（3.2%減）	道路輸送施設提供業の増加 炭素質電極製造業等の減少
南丹地域		運輸・郵便業　（16.4%増） 製造業　（3.3%減）	道路輸送施設提供業の増加 自動車部分品・附属品製造業等の減少
京都市域		金融・保険業　（16.2%増） 製造業　（8.9%減）	民間非生命保険業の増加 集積回路製造業等の減少
山城地域	乙訓地域	保健衛生・社会事業　（4.7%増） 建設業　（10.1%減）	介護の増加 民間建築部門の減少
	山城中部地域	運輸・郵便業　（14.1%増） 建設業　（8.4%減）	道路輸送施設提供業の増加 民間建築部門の減少
	相楽地域	製造業　（20.4%増） 建設業　（29.8%減）	化学工業製品製造業の増加 民間建築部門の減少

３　令和元年度１人当たり地域別市町村民所得



※各１人当たり地域別市町村民所得については、京都府推計人口に基づく人口により求めています。